

週報

2026 日 1 月 4 日

主日礼拝



〈聖書のみことば〉

詩篇113篇3節

「日の昇るところから沈むところまで
主の御名がほめたたえられるように。」

主日礼拝プログラム

- ・前 奏
- ・招 詞 詩篇 36:7～9
- ・賛 美 LP118「威光・尊厳・栄誉」
LP62「御霊のそそぎ」
- ・祈 り
- ・月間賛美 みその SB よ-2「善き力に我囲まれ」
- ・信仰告白「使徒信条」
- ・聖書朗読 ローマ 8:31～34
- ・宣 教 「キリスト・イエスの確かなとりなしの中で」
丸山悟司牧師
- ・応答賛美 みその SB え-1「永遠にあなたと」
- ・聖餐式 聖歌 397「とおきくにや」
- ・1 月誕生者の祝福の祈り
- ・感謝献金 LP118「威光・尊厳・栄誉」
讃美歌 547「今ささぐる」
- ・頌 栄 讃美歌 542
- ・祝 祷
- ・報 告



【説教要旨】「キリスト・イエスの確かなとりなしの中で」（ローマ 8:31-34）

丸山悟司牧師

万物を創造された永遠なる神が、私たちの敵ではなく味方であってくださるということは、なんと心強いことでしょう。今日の新年最初の礼拝では、今年の日本バプテスト教会連合の標語「キリスト・イエスの確かなとりなしの中で」をタイトルとして、神が私たちの味方であることの根拠を、二つの側面から考えたいと思います。

① ご自分の御子さえも惜しむことなく（31-32 節）

神が私たちの味方であることの最大の根拠は、他でもなく神がご自分の比類のないひとり子を、「惜しむことなく死に渡された」事実です。「私たちすべてのために」ですから、この神の広く大きな愛からこぼれ落ちている人はいません。

「すべての」が 32 節では二度繰り返されています。ご自分の御子さえも惜しむことなく死に渡されるという、これ以上ない恵みを示された神は、それ未満の「すべての」恵みを私たちにお与えくださるということです。

② キリスト・イエスの確かなとりなしの中で（33-34 節）

神が私たちの味方であることのもう一つの根拠は、私たちのために贖いのみわざを成し遂げられた御子イエスが、天の御座に着座され、私たちのために弛むことなくとりなしていてくださるという事実です。「だれが、私たちを罪ありとするのですか」（34 節）に対する望まれる応答は「いや、だれも」です。これは最後の審判が想定されていて、最後の審判の法廷で、私たち神の聖徒を罪に定めることのできる者はだれもないということです。私たちのために死んでよみがえられた方が、なお私たちのためにとりなしていてくださるからです（ヨハネ第一 2:1-2 も参照）。私たちは、キリスト・イエスの確かなとりなしの中にかくまわれているのです。

<報告と案内>

★本日は、今年最初の主日礼拝とともに捧げる事ができ感謝いたします。

「キリスト・イエスの確かなとりなしの中で」歩む2026年、互いの祝福を祈りましょう。

★本日礼拝終了後、お時間の許される方は、クリスマス装飾の片づけにご協力よろしくお願いいたします。

★今週8日(木)朝6:30~7:00、「早天祈り会」が教会1階にて行われます。

★次週11日(日)午後2時30分より東京地区連合・新年合同礼拝および成人式が練馬バプテスト教会にて行われます。

★『連合通信』最新号が、教会員の皆様はメールボックスに入っていますのでご確認ください。メールボックスのない方は、1階受付台よりお取りください。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

<次週の主日礼拝> 2026年1月11日 9時礼拝・11時礼拝

説教者:崔錫允宣教師

聖書箇所:エペソ 4:13~16

応答賛美:聖歌 539「見ゆるところよらず」

***今週の「早天祈り会」聖書通読箇所:詩篇 58 篇~64 篇**

宗教法人/日本バプテスト教会連合



御園バプテスト教会

牧師:丸山悟司

住所:〒252-0321 神奈川県相模原市南区相模台 2-3-7

電話番号:042-766-0805